

地球を守る！ エコ体験

都城市環境まつり

下水流町のリサイクルプラザで11月13日、環境まつりが開催されました。5回目の今回は、県内外から約2、600人が来場。地球温暖化などの環境に対する関心を高めてもらうとミニソーラーカー製作教室や太陽光パネルの展示が行なわれたほか、緑化木の苗などの無料配布もあり、終日多くの人が出でにぎわいました。紫外線に当たると色が変わるブルーンスライムづくりを体験した中山^{わたる}巨君（山田町山田）は「太陽に当たると白からピンクに変わったので驚いた」と笑顔で話していました。



緊張の面持ちで初登壇

第2回女性議会

市政を身近なものとして興味を持ってもらうと、女性の視点から意見や発想を提案する女性議会が11月16日、市議会本会議場で開催されました。一般公募と関係機関から推薦された7人が登壇。今回は議員応援サポーター7人も同席し、農政問題や治安対策などについての質問を行いました。子育て支援センターの活用と男性の育児休業取得の促進について質問した外^{わたる}蘭幸子さん（広原町）は「議会の仕組みを知り興味を持てた。子育てについて市長の意見を直接聞けてよかった」と話していました。



まちを彩る師走の風物詩

プラザイルミネーション2010

夜の中心市街地をにぎやかに彩るプラザイルミネーションの点灯式が11月20日、ウエルネス交流プラザで行われました。7年目の今年は点灯期間を年明けの1月10日まで延長。今年新たに作られた人に反応して流れ星が発生するクリスマスツリーのオブジェ前では、訪れたカップルや家族連れらが点灯するたびに願い事をしたり、写真に収めたりしていました。また、10万球の電飾が照らす幻想的雰囲気の中ハンドベルの演奏などが行われ、観客らは一足早いクリスマス気分を楽しんでいました。



自慢の一品で味競う

がねコンテストINせきのお秋の陣

11月21日、滝の駅せきのお前広場で、がねコンテストが開催されました。県内外から8チームが参加し、試食した来場者の投票で優勝が決定。サツマイモのみを使った昔ながらのがねのほか、キャベツやカボチャなどを加えた一味違ったがねが出品され、試食した人たちは舌鼓を打っていました。有馬^{とも}都茂子さん（高城町有水）は「思いがけないおいしい具材もあったので家でも作ってみます」と笑顔で話していました。投票の結果、吉^{よし}邸チームの「幸せのがね」がコンテストを制しました。





親子で一緒に学び楽しむ

わくわくおやこ村

親子で参加して楽しめるわくわくおやこ村が11月21日、南九州大学で開催されました。市の子育て支援センターで活動している5つの子育てサークルが、今年初めて企画。南九州大学の黒川久美准教授による講演のほか、遊びや鑑賞、育児相談コーナーなどが設けられ、参加した親子らは簡単なおもちゃを作ったり、ミニコンサートを楽しんだりしていました。講演を聴いた田中めぐみさん（高城町桜木）は「もっと子どもに対してゆとりを持って接したい」と日ごろの子育てのヒントを得ていました。



力いっぱいまき割り体験

キッズボンパク

都城市の魅力を再発見してもらうと始まったボンパクに、子どもを対象とした初めてのキッズボンパクが11月6日から28日まで行われました。11月27日に南九州大学で開催された「まきストーブと木の楽器作り体験」には市内外から親子10組が参加。子どもたちは、まき割りを体験したり、木の楽器作りに挑戦したりして木の感触を楽しんでいました。初めてまき割りを体験した藤井風音さん（上長飯小2年）は「おのを使うのは初めてで怖かったけどおもしろかったです」と話していました。



学習の成果を生き生きと披露

生きがいふれあいフェスタ山之口

生きがいふれあいフェスタ山之口が12月5日、山之口勤労福祉センターを主会場に開催されました。会場には和紙人形や書など、さまざまな作品を展示。三味線やコーラスなどの学習の成果が発表されたほか、そば打ち体験コーナーなども設けられ、多くの人出でにぎわいました。また、地元小学生らも郷土芸能や太鼓などを披露し祭りを盛り上げました。人形浄瑠璃を演じた平原慎之介君（麓小6年）は「今日の出来は50点。次の定期公演では人形の動きを大きくしたい」と意気込んでいました。



迫力あるぶつかりけいこ

鍛山（しこやま）部屋都城合宿

大相撲鍛山部屋の都城合宿が12月5日から19日間、高城町の観音池公園ふれあいセンターで行われました。序ノ口高千穂峰（本名川畑慶真さん）が志比田町出身という縁で今年初めて実現。九州場所を終え、合宿に参加した力士らは、ぶつかりけいこなどに汗を流していました。また、12日のふれあい交流会ではちゃんこが振る舞われ見学者らは舌鼓を打っていました。池沢孝一さん（高城町石山）は「現役時代の親方（寺尾関）のファンでした。実物はよかにせずね」と喜んでいました。





都

城島津邸の来館者に都城の歴史を説明して案内する都城歴史観光ガイドの会。このボランティアガイドの会の会長が森文武さん（高城町・69歳）です。

都城歴史観光ガイドの会は、都城島津邸が開館した昨年の3月27日から活動を開始。市内の30歳から80歳代の退職者や主婦など44人が所属していて、会員らはガイドになるために都城歴史観光ガイド養成講座で、歴史についての講義

や観光地での実習、先進地視察など2年間の研修を受講しました。訪れた観光客に、都城島津邸の本宅や歴史史料を展示する都城島津伝承館を歴史的由来を加えながら案内をしています。

自衛隊を定年後、支配人として高城町の観音さくらの里に勤務した森さんは、県外からの来場者に観光名所や史跡を紹介していたことから「自分のふるさと都城のルーツを知ろう」と考え講座を受講。

都城歴史観光ガイドの会

会長

森

文武ふみ たけさん

さらに多くの人に都城の歴史を知ってもらおうと同会に所属し初代会長に就任しました。

当初は、来場者に満足してもらえない案内ができていた不安でしたが「ありがたう。来て良かった」との一言が励みになり、現在でもメンバーとともに、書物を調べたり、有識者の意見を聞いたり知識を深めています。

「子どもたちが子どものころから自分自身のふるさとの歴史に興

味を持ち、郷土愛に目覚めてほしい」と話す森さん。これまでに案内した来場者数は、1万人弱ですが、小・中学生でも分かりやすい説明を心掛けています。

「子どもたちが都城島津邸で学んだ歴史を親や友だちに紹介し、紹介された人がまた違う人に紹介してもらおう。そうした口コミでつながっていき、都城の歴史が全国に知れ渡ると良いですね」と夢は膨らみます。



都城讃歌

【また会いたい、都城】

中西 基王さん



なかにし もと お
中西 基王

◎プロフィール

1968年1月5日生まれ、栄町出身。千葉大学工学部卒
1991年、㈱リクルート入社
2009年4月より、北海道じゃらん編集長

東京、仙台、東京、広島と転勤を重ね、札幌に住んで間もなく2年。札幌では小中学校時代の剣道部の後輩と27年ぶりに再会できたといううれしい出来事もありました。現在、旅行雑誌の編集長という立場で、観光による地域活性のお手伝いをさせていただいています。

故郷で過ごした時間が今の仕事観、人生観に大きく影響していることは間違いありません。日々の時間との戦いの中で、支えとなっているのは「どげんか なつとよ」という都城気質。前に進んでさえいれれば必ず道は開けるし、なるようにしかならない。そう開き直す事で救われた局面も多々あります。それから、

小さいころいろいろな場所へ遊びに出掛けた思い出。これは両親に感謝。春は蕨摘み、夏は海水浴、冬は雪遊びと週末の度に連れ出してくれ、人より多くの経験をさせてもらえた事で「旅は人を笑顔にする」と心から思え、今の仕事につながっています。

仕事で全国各地を見て回る機会も多く、その街々の優れた面、物足りない面を感じる度に、都城はどうなのだろう？ という思いが過ります。そしてその度に自分が故郷の今を知らなすぎると、なんだか親不孝をしているに近い感覚を覚えます。

昔、訪れたあの場所を改めて訪れてみたい、そう思う今日のごろです。

学校へ行こう

菓子野小学校

菓子野町9555 ☎37-0527



みんなの大好きな菓子野小

6年 丸山ことみさん
6年 橋本朝日香さん
6年 柳田彩乃さん

菓子野小は、全校児童104人のとても元気で明るい学校です。菓子野小には、3つの良いところがあります。それは「元気がいい」「男女が協力し合う」「全学年が仲良し」ということです。昼休みの運動場を見ると男女の区別なく、いろいろな学年が交じって遊んでいる姿がよく見られます。

また、1年生のことを6年生がよく知っているし、1年生も6年生のことをよく知っています。先生たちも全校の子ども

ことをよく知っています。まるでみんなが一つのクラスのように思うことがあります。

菓子野小は、自然に囲まれ緑がいっぱいですが、校舎からは霧島山を見ることができません。

「メリー」というヤギを飼育していますが、口蹄疫の時は、全校児童みんなでメリーを守るために頑張りました。

10月29日は、学校創立60周年を記念し、全校児童と保護者、地域の人たちみんなで合わせて60⁺走りました。

私たちは、こんな菓子野小が大好きです。これからも明るく楽しい声がいつまでも聞こえるすばらしい学校であって欲しいと思います。



◎学校のシンボル「ヤギの『メリー』」

メリーは、平成11年12月に菓子野小学校にやってきました。学校の創立60周年記念イベントでは、子どもたちと一緒に運動場を走りました。いつになっても子どもたちのアイドルです